安心の設計

お便りは、
メールiryou@yomiuri.com
ファクス03・3217・1960

病院の実力 235

脳腫瘍　基本は手術で切除

脳腫瘍は、頭蓋骨の内部にできる。厚生労働省による2016年の統計では、年間新規患者は約2・8万人とされる。

様々な種類がある。多いのは、大脳などにできる「神経膠腫」、脳を包む膜にできる「髄膜腫」、聴神経など神経を覆う細胞にできる「神経鞘腫」、ホルモンを分泌する下垂体にできる「下垂体腺腫」だ。

読売新聞は21年11～12月、日本脳神経外科学会の専門研修プログラムの基幹施設や、がん診療連携拠点病院など計977施設に、20年の治療実績をアンケートし、412施設から回答を得た（回答率42％）。

成人の一覧表は、①神経膠腫②髄膜腫③神経鞘腫④下垂体腺腫の手術件数を示し、手術件数が計20件以上の病院を掲載した（該当がない県は最も件数が多い病院）。子どもは、18歳未満の新規患者が10人以上の病院を地域別に別表に載せた。

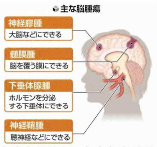
治療は手術で腫瘍を取り除くのが基本だ。

神経膠腫は悪性で、正常な部位との境界が分かりにくい。手術で取りきれなかった腫瘍に対し、放射線治療や、抗がん剤などによる化学療法を行う。

髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫は良性が多い。手術の後、腫瘍だけにピンポイントで放射線をあてる「定位照射」を行う場合がある。

手術法は進歩している。患者を途中で目覚めさせ、会話を続けながら進める「覚醒下手術」や、脳を撮影し、切除可能な範囲を見極める「術中MRI（磁気共鳴画像装置）」が広がり、言語や運動など重要な機能を温存し、できる限り腫瘍を切除できるようになった。

主な脳腫瘍



国立がん研究センター中央病院脳脊髄腫瘍科長の成田善孝さんは「早期に治療を開始することが重要です。手足のまひや、言葉が出にくいなどの症状があれば受診してください」と話す。

子どもの患者は、成人と比べると少ないが、15歳未満のがん（小児がん）では、白血病に次いで多い。18歳ぐらいまでは、子ども特有

手足まひ、言葉出にくい場合受診を

の脳腫瘍を発症することが多く、主に、小児がんの専門医が治療を担う。

子どもは、放射線治療や化学療法の後遺症が、時間がたって起こる可能性がある。発達の遅れや、第二次性徴が来ないなどで、晩期合併症と呼ばれる。治療を終えても、長期的に経過観察を受けることが重要だ。

子どもの脳腫瘍は、成人よりも、多くの種類がある。国立成育医療研究センター脳神経腫瘍科診療部長の寺島慶太さんは「どの種類もまれで、治療法を熟知した医師は限られます。小児がん拠点病院や連携病院などを目安に、豊富な治療実績を持つ医療機関の受診を勧めます」と話している。

（安藤奈々）

＊過去記事はヨミドクターで

次回（3月16日予定）は　がんの放射線治療

主な医療機関の脳腫瘍の治療実績（2020年）

＜成人＞
①神経膠腫②髄膜腫③神経鞘腫
④下垂体腺腫（すべて手術件数）

	①	②	③	④
北海道				
北海道大	51	19	11	17
中村記念	21	36	21	14
札幌医大	30	7	4	7
札幌禎心会	6	26	4	5
旭川医大	19	9	3	6
柏葉脳神経外科	4	19	2	6
北斗	5	6	4	9
函館脳神経外科	3	12	1	8
青森				
弘前大	25	15	2	11
県立中央	12	10	5	3
岩手				
県立中央	6	18	3	5
宮城				
東北大	91	39	7	2
広南	0	24	0	72
国・仙台医療セ	0	16	9	0
秋田				
秋田大	37	19	10	10
山形				
山形大	27	34	8	17
福島				
県立医大	30	20	15	15
総合南東北	18	27	4	10
茨城				
筑波大	49	44	12	37
聖麗メモリアル	1	11	1	9
栃木				
自治医大	41	20	2	18
独協医大	41	16	5	16
済生会宇都宮	7	10	1	7
群馬				
国・高崎総合医療セ	5	3	0	0
埼玉				
埼玉医大総合医療セ	93	24	14	10
防衛医大	21	23	9	15
埼玉医大国際医療セ	20	19	7	17
独協医大埼玉医療セ	13	22	3	11
千葉				
千葉大	34	34	15	31
県がんセ	47	5	0	0
順天堂大浦安	12	8	3	12
国保旭中央	11	12	4	2
東京				
虎の門	8	42	10	174
東京女子医大	109	41	6	45
東京医大	21	42	115	12
順天堂大	58	61	32	14
日本医大	16	33	8	45
東京医科歯科大	23	39	0	25
慶応大	22	43	9	11
東京大	34	29	4	15
国立がん研究セ中央	63	16	0	1
杏林大	53	11	1	14
総合東京	7	38	15	9
慈恵医大	16	26	10	16
昭和大	6	15	5	35
東邦大大橋	20	10	4	12
日赤医療セ	15	29	0	2
帝京大	7	10	6	22
日大板橋	17	13	3	8
武蔵野赤十字	13	13	3	8
東邦大大森	8	14	6	3
東京医大八王子医療セ	12	10	5	2
東海大八王子	8	8	5	2
神奈川				
北里大	85	12	6	14
横浜市大病院	36	20	24	17
東海大	18	31	12	15
横浜市大市民総合医療セ	12	23	10	6
横浜労災	8	14	8	5
横須賀共済	9	17	3	4
新百合ヶ丘総合	3	12	2	10
済生会横浜市東部	6	11	2	6
新潟				
新潟大	43	29	13	25
富山				
富山大	12	16	5	16
県立中央	7	16	0	13
石川				
金沢大	43	35	4	11
金沢医大	4	12	0	33
福井				
福井県立	8	6	0	3
山梨				
山梨大	15	20	5	19
長野				
長野市民	4	5	1	7
岐阜				
岐阜大	20	15	7	11
大垣市民	6	13	1	10
静岡				
県立静岡がんセ	33	8	3	8
聖隷浜松	13	19	1	8
順天堂大静岡	10	20	5	4
磐田市立総合	12	3	1	4
愛知				
名古屋大	58	20	3	23
愛知医大	13	34	9	23
藤田医大	20	31	5	13
日赤名古屋第二	11	17	2	17
名古屋市大	15	15	10	3
名古屋セントラル	11	23	4	2
刈谷豊田総合	16	14	1	8
豊橋市民	9	17	3	9
岡崎市民	4	12	1	14
小牧市民	9	11	3	8
日赤名古屋第一	9	10	3	3
安城更生	6	10	2	5
市立半田	10	11	1	0
三重				
三重大	10	16	7	13
伊勢赤十字	9	12	3	4
滋賀				
滋賀医大	28	12	8	9
京都				
京都大	35	31	6	26
府立医大	26	9	5	10
国・京都医療セ	11	8	3	0
大阪				
大阪市大	41	66	34	23
大阪大	41	27	0	38
富永	13	46	8	27
大阪市立総合医療セ	25	30	10	15
大阪医科薬科大	25	20	7	8
関西医大	23	25	7	13
近畿大	14	19	3	18
大阪国際がんセ	33	9	0	1
田辺脳神経外科	25	9	2	2
大阪警察	10	13	6	4
堺市立総合医療セ	9	12	2	6
北野	6	10	3	9
馬場記念	10	9	2	6
大阪急性期・総合医療セ	10	10	1	4
大阪赤十字	6	9	1	8
国・大阪医療セ	5	13	1	3
済生会中津	5	12	1	4
兵庫				
神戸大	46	24	16	19
兵庫医大	20	26	6	23
関西労災	9	27	6	4
大西脳神経外科	5	27	2	9
神鋼記念	8	11	3	8
長久	7	12	3	2
姫路赤十字	2	7	7	6
ツカザキ	3	11	2	4
神戸市立医療セ中央市民	5	11	1	3
奈良				
県総合医療セ	6	7	2	8
和歌山				
県立医大	29	22	12	19
鳥取				
鳥取大	17	9	2	20
島根				
島根大	6	11	3	6
岡山				
岡山大	29	35	15	29
倉敷中央	9	16	2	6
岡山旭東	7	13	3	2
広島				
広島大	37	35	14	28
県立広島	3	23	5	47
市立広島市民	12	20	0	1
山口				
山口大	23	13	3	10
徳島				
徳島大	25	24	7	17
香川				
香川大	18	16	5	10
県立中央	8	23	4	1
愛媛				
愛媛大	4	23	7	7
高知				
高知大	23	19	3	10
愛宕	3	12	17	5
福岡				
九州大	30	22	5	28
産業医大	20	8	4	15
福岡大	13	16	6	9
国・九州医療セ	5	17	2	1
浜の町	4	5	1	14
小倉記念	2	9	2	7
長崎				
長崎大	22	19	1	15
熊本				
熊本大	51	25	13	29
済生会熊本	0	28	3	0
大分				
一ノ宮脳神経外科	3	2	1	0
宮崎				
宮崎大	22	20	14	17
鹿児島				
鹿児島大	60	56	7	43
沖縄				
県立南部医療セ・こども	4	6	3	5

＜子ども＞
18歳未満の新規患者数

北海道	
北海道大	16
東北	
東北大	22
山形大	10
関東	
筑波大	13
自治医大	12
埼玉医大国際医療セ	11
埼玉医大総合医療セ	10
松戸市立総合医療セ	24
国立がん研究セ東（千葉）	13
国立成育医療研究セ（東京）	36
慈恵医大	23
虎の門	14
順天堂大	11
国立がん研究セ中央	10
北里大	14
北陸	
新潟大	15
金沢大	11
中部	
日赤名古屋第一	12
名古屋大	11
関西	
大阪市立総合医療セ	23
大阪大	13
大阪市大	12
和歌山県立医大	16
中国・四国	
岡山大	12
広島大	19
愛媛大	13
九州	
九州大	20
産業医大	12
鹿児島大	14

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター。佐賀は回答なし。

■全ての回答医療機関の情報はヨミドクターに

回答した全医療機関の治療実績などは、読売新聞の医療・健康サイト「ヨミドクター」の「病院の実力」に掲載予定です。また、過去の調査結果も掲載しています。詳しくはhttps://yomidr.yomiuri.co.jp/へ。

☘「受けたい医療　2022年版」（読売新聞医療部編）　医療ムック本シリーズの最新刊。読売新聞の医療関連記事を一冊にまとめました。「がん」「脳・心臓・血管」「肘・腰・背骨・関節」「目・鼻」「認知症」など読者の関心の高いテーマを取り上げ、最新情報をわかりやすく解説しています。シンガー・ソングライターの岡村孝子さん、漫画家の蛭子能収さんの闘病記も。一般書店と読売新聞販売店で扱っています。（読売新聞社　税込み1320円）

受けたい医療
2022

(C)読売新聞社　無断転載・複製禁止。放送、出版等での二次利用の際は
読売新聞知的財産担当（mail: t-chizai06@yomiuri.com tel:03-6739-6961)まで。